

## 4-5 RC 梁の入力

通り芯と面芯距離を参照して大梁を自動配置しましょう。  
その後で個別に大梁と小梁を配置してみましょう。

### 梁を入力する

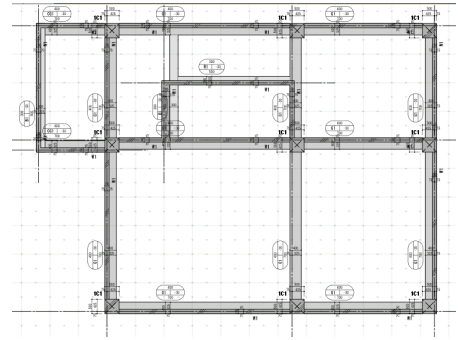
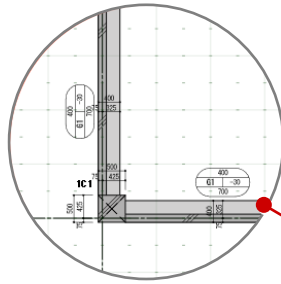
動画解説を  
メニューからご覧いただけます。

### 梁を一括入力する

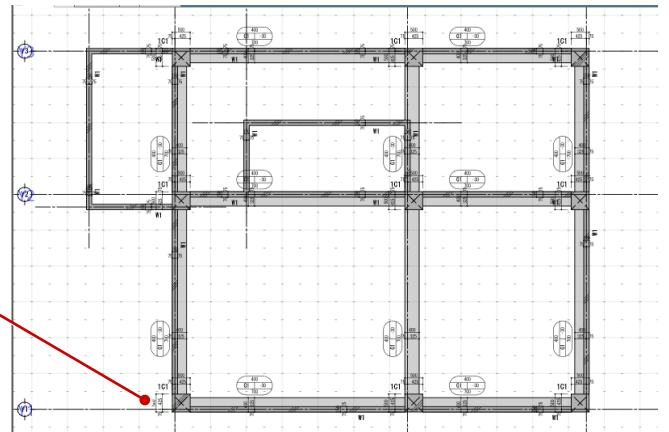
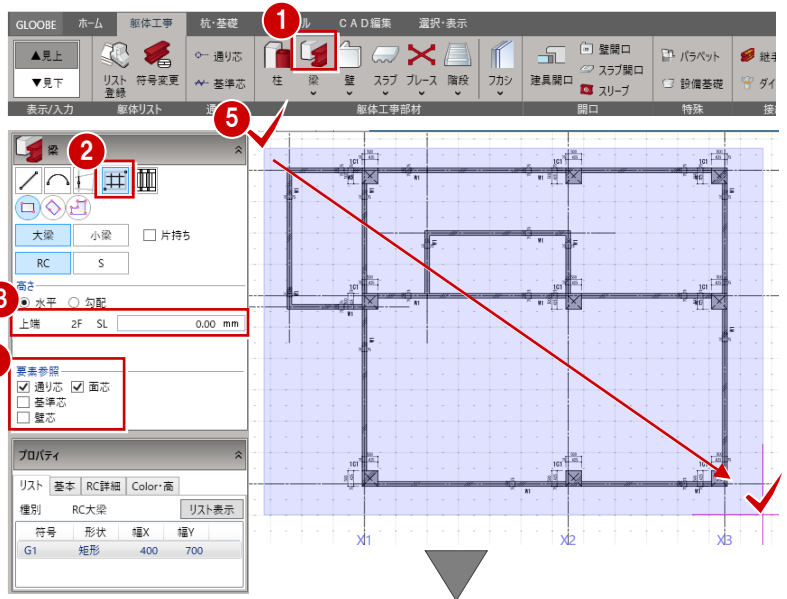
面芯距離を利用して、リスト登録で登録した大梁「G1」を自動配置します。

- 1 「梁」をクリックします。
- 2 入力モードを「要素範囲参照」に変更します。
- 3 上端の高さ基準を「2F SL 0mm」に設定します。
- 4 要素参照の「通り芯」「面芯」がONになっていることを確認します。
- 5 すべてのデータが対象となるように、始点、対角点をクリックして範囲を指定します。梁と記号が自動配置されます。

通り芯に対して、面芯距離の位置  
(柱・壁面に梁面が合うような位置)  
に梁が配置されます。



【完成図】



### 【モデル入力の各ビューの表現】

平面ビューに表示する各部材の符号と記号、寸法線の表示や文字の書式などは「選択・表示」タブの「作図表現」で設定します。「記号設定」タブから記号マスタの編集を行うことも可能です。(⇒ 記号の作成については、P80 参照)

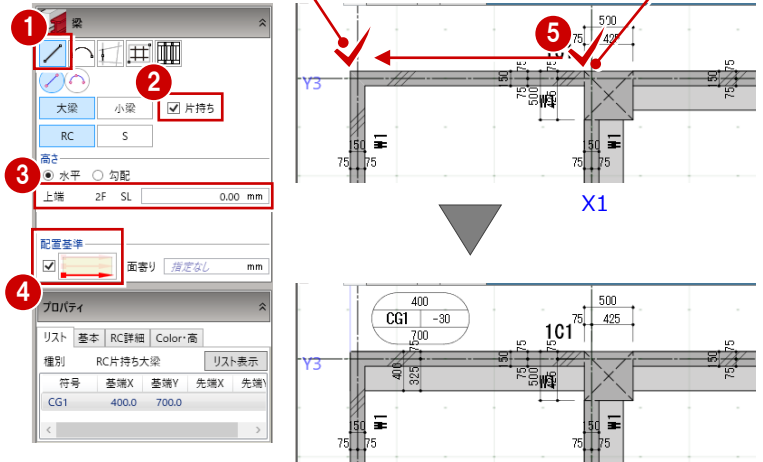


マスタを  
編集します。

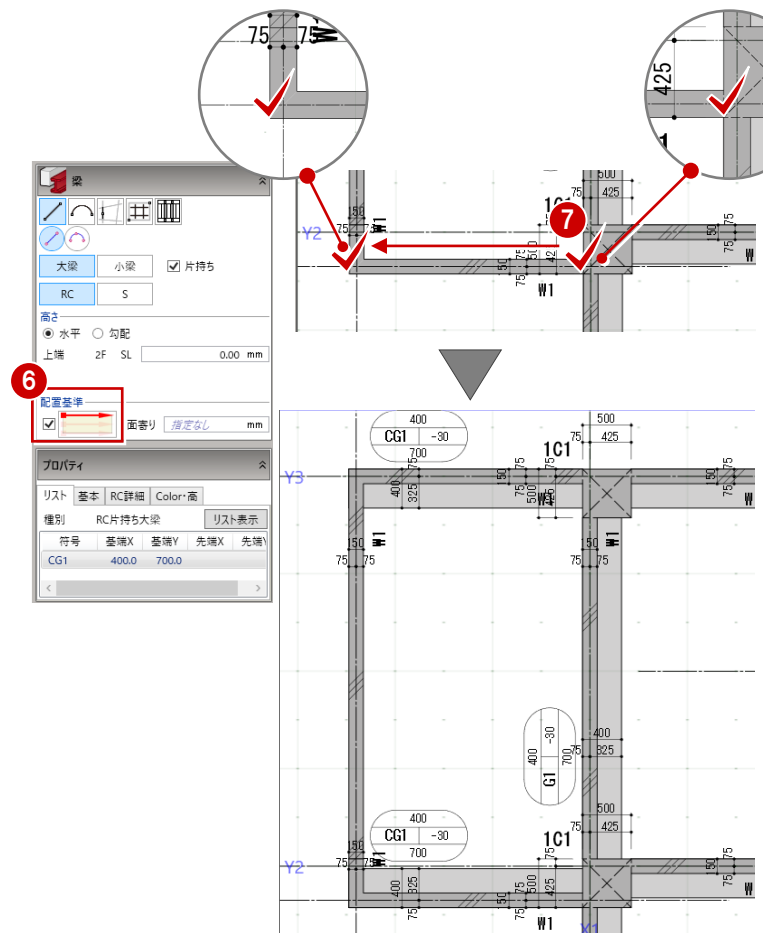
## 片持ち梁を入力する

リスト登録で登録した片持ち梁「CG1」を入力します。

- 1 入力モードを「線分」に変更します。
- 2 「片持ち」をONにします。
- 3 上端の高さ基準を「2F SL 0mm」に設定します。
- 4 配置基準を「右寄」に変更します。
- 5 梁の始点として、X1Y3の柱の左上の角、終点として、外壁線上の交点をクリックします。

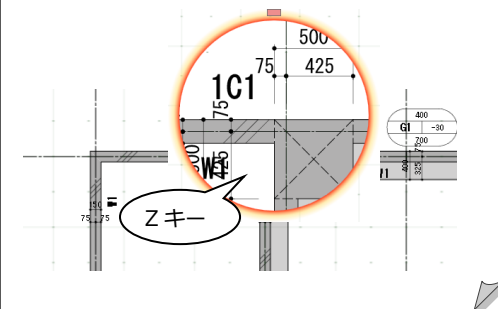


- 6 配置基準を「左寄」に変更します。
- 7 梁の始点として、X1Y2の柱の左下の角、終点として、外壁線上の交点をクリックします。



### ズームビューを表示するには

拡大したい位置にマウスを移動しZキーを押すと、ズームビューが表示され入力しやすくなります。ズームビューを閉じるには、ズームビュー上にマウスを置いてZキーを押します。



### 梁の先端を入れ替えるには

ハンチ付きの梁などを配置した後に先端を入れ替えたい場合は、「梁」メニューから「梁始終点入替」を選んで端部をクリックします。

